

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ペットボトルのリサイクル	高	しごと Ⅱグループ	川崎昭子

1. ねらい

- (1) ペットボトルの活用のされ方について知る。
- (2) ペットボトルを分別することができる。
- (3) ペットボトル分別の活動が社会に貢献していることを知る。

2. 内容

- (1) ペットボトルの活用のされ方を学習する。
 - ①ペットボトル本体はリサイクルされ、新しい製品が作られる。
 - ②キャップは、世界の子どもたちを助ける活動（ワクチン、本の支給など）に役立つ。



(2) ペットボトルを分別する。

- ①キャップをはずし、ラベルをはがす。
- ②本体とキャップをきれいに洗う。
- ③学習シートを使ってキャップの数を数える。



(3) 社会参加活動をする。

- ①分別したペットボトルをコープ(リサイクル部門)に持って行く。
- ②集めたキャップをキャップ回収業者に引き渡す。

3. 良かった点

- (1) ペットボトルの活用のされ方を知り、意欲的に取り組むことができた。
- (2) 2コマ続き（40分×2）の長時間の授業だったが、ずっと集中して取り組むことができた。
- (3) 回数を重ねるごとに手際が良くなり、自主的に作業を進めることができた。
- (4) 一年間で約2500本のペットボトルを分別することができた。
- (5) 学校の職員、家族の方々にも協力してもらい、約6400個のキャップを集めることができた。
- (6) 一年間の学習を通して、今後もペットボトルのリサイクルに協力しようという意識を高めることができた。